

**平成29年度  
茨木市全域防災訓練  
アンケート報告書**



**平成30年3月**

## 目次

1 目的	1
2 概要	2
(1) アンケート収集方法	
(2) アンケート実施場所	
(3) アンケート回答者	
3 集計結果	2
①性別	2
②年代	2
③本日の訓練は役に立ちましたか	3
④本日の訓練にあたって、点検・確認した項目は何ですか（複数回答可）	3
⑤今回の防災訓練開催はどの手段で知りましたか（複数回答可）	4
⑥災害に備えて、普段から意識していることは何ですか（複数回答可）	5
⑦防災に関して市に力を入れて取り組んで欲しいことは何ですか	5
⑧今後、防災意識を高める取り組みとして、最も力を入れるべきことは何だと思いませんか	6
⑨訓練に関するご意見・ご感想など自由意見	6

## 1 目的

本アンケートは、平成30年1月21日（日）に実施した茨木市全域防災訓練において、訓練に参加された各避難所の市民を対象に、市民の防災意識や、訓練における課題の把握を行い、今後の本市における防災の取組みに役立てるため実施した。

## 2 概要

### (1) アンケート収集方法

訓練に参加した市民等に対し、アンケート用紙を配布し、訓練終了後回収した。

### (2) アンケート実施場所

指定避難所75か所

### (3) アンケート回答者

当日訓練に参加した9,175人のうち、アンケート回答者は4,835人、アンケート回収率は52.7%

#### 1 訓練参加者

平成29年度	9,175	人	
平成27年度(前回)	7,719	人	
差	1,456	人	増加 18.8%増加

#### 2 アンケート回収

			(回答率)
平成29年度	4,835	人	52.7%
平成27年度(前回)	3,906	人	50.6%
差	929	人	増加

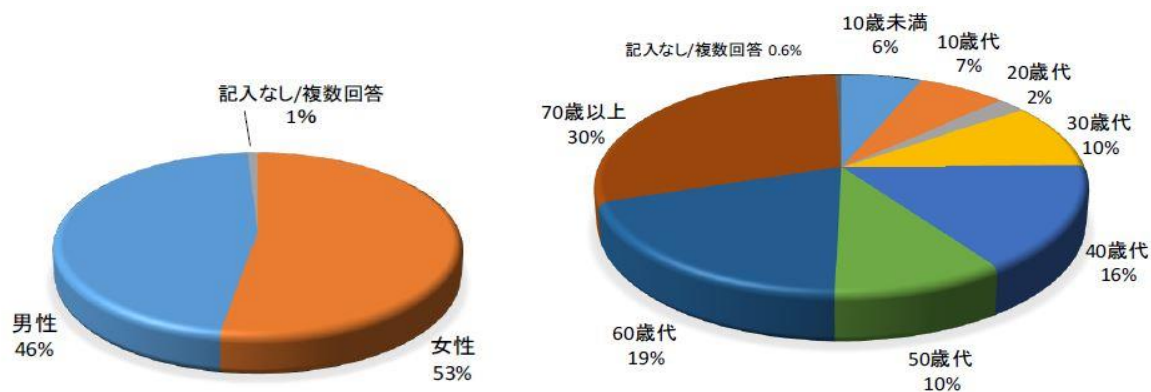
### 3 集計結果

#### ①性別

性別	人数				割合		
	H29	H27	差	伸び率	H29	H27	差
男	2,243	1,793	450	25%	46.4%	45.9%	0.5%
女	2,545	2,021	524	26%	52.6%	51.7%	0.9%
未記入	47	92	-45	-49%	1.0%	2.4%	-1.4%
計	4,835	3,906	1858	24%	100.0%	100.0%	-

#### ②年齢

年代	人数				割合		
	H29	H27	差	伸び率	H29	H27	差
0～10代	626	369	257	70%	12.9%	9.4%	3.5%
20代	106	67	39	58%	2.2%	1.7%	0.5%
30代	466	324	142	44%	9.6%	8.3%	1.3%
40代	757	633	124	20%	15.7%	16.2%	-0.5%
50代	478	451	27	6%	9.9%	11.5%	-1.6%
60代	939	854	85	10%	19.4%	21.9%	-2.5%
70代以上	1,433	1,208	225	19%	29.7%	31.0%	-1.3%
回答なし	30	0	30	-	0.6%	0.0%	0.6%
計	4,835	3,906	929	24%	100.0%	100.0%	-

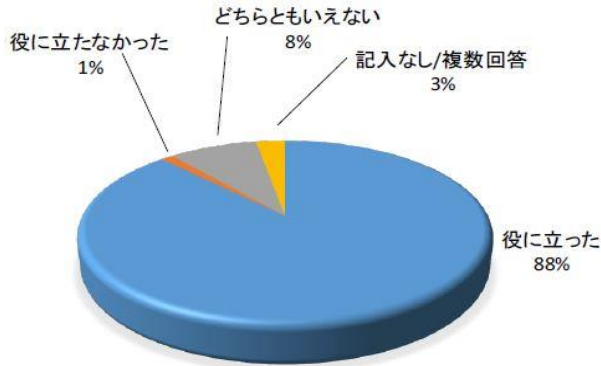


女性が2,545人（52.6%）、男性が2,243人（46.4%）、未記入が47人（1.0%）で、年代別では、70歳代以上1,433人が一番多く、次に60歳代が939人、40歳代が757人、0～10歳代が626人、50歳代が478人、30歳代が466人、20歳代が106人で特に少ない状況となっている。

前回と比べ、全世代で訓練参加者が増加した。特に、0～10歳代、20歳代、30歳代の伸び率が顕著であり、日ごろからの防災啓発や訓練メニュー等の工夫によるものと推測される。

### ③本日の訓練は役に立ちましたか？

	人数				割合		
	H29	H27	差	伸び率	H29	H27	差
役に立った	4,238	2,951	1,287	44%	87.7%	75.6%	12.1%
役に立たなかった	55	121	-66	-55%	1.1%	3.1%	-2.0%
どちらともいえない	398	716	-318	-44%	8.2%	18.3%	-10.1%
未記入等	144	118	26	22%	3.0%	3.0%	0.0%
計	4,835	3,906	-	-	100.0%	100.0%	0.0%



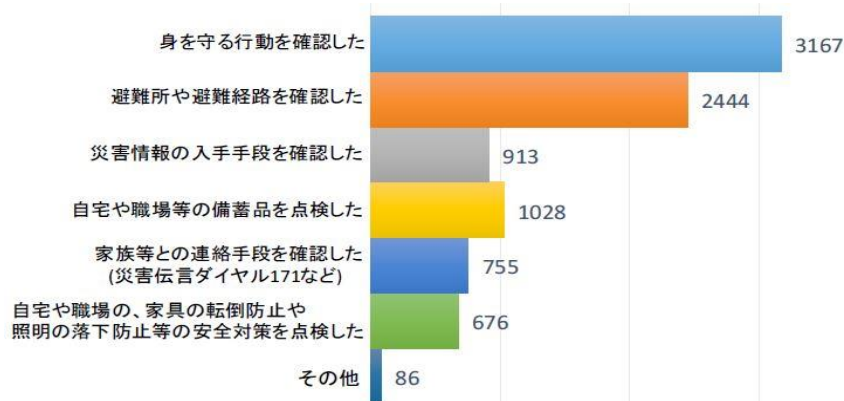
「役に立った」が4,238人（87.7%）、「役に立たなかった」が55人（1.1%）、「どちらともいえない」が398人（8.2%）となっている。

DVDの上映のみなど、簡易な訓練を実施した地域は、防災訓練としての実感が得られず、「役に立たなかった」という回答が多く見受けられた。

前回と比べ「役に立った」の割合が12.1%も増加し、「役に立たなかった」「どちらともいえない」がともに減少した。

### ④本日の訓練にあたって、点検・確認した項目は何ですか？（複数回答可）

	人数				割合		
	H29	H27	差	伸び率	H29	H27	差
身を守る行動を確認した	3,167	2,643	524	20%	34.9%	34.3%	0.6%
避難所や避難経路を確認した	2,444	2,320	124	5%	27.0%	30.0%	-3.0%
災害情報の入手手段を確認した	913	853	60	7%	10.1%	11.1%	-1.0%
自宅や職場等の備蓄品を点検した	1,028	604	424	70%	11.3%	7.8%	3.5%
家族等との連絡手段を確認した (災害伝言ダイヤル171など)	755	823	-68	-8%	8.3%	10.7%	-2.4%
自宅や職場の、家具の転倒防止や 照明の落下防止等の安全対策を点検した	676	467	209	45%	7.5%	6.1%	1.4%
その他	86	0	86	-	0.9%	0.0%	0.9%
計	9,069	7,710	1,359	18%	100.0%	100.0%	0.0%



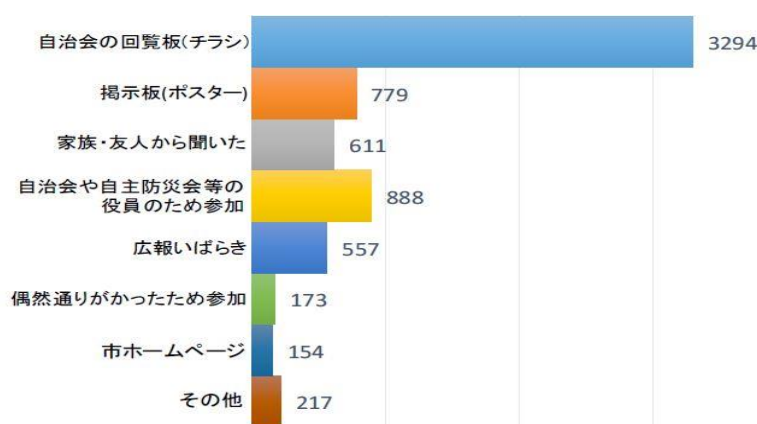
平成28年度に市全域でシェイクアウト訓練を実施したこともあり、「身を守る行動を確認」した人が1番多く、3,167人、次に、「避難所や避難経路を確認」した人が2,444人、「自宅や職場等の備蓄品を点検」した人が1,028人、「災害情報の入手手段を確認」した人が913人、「家族等との連絡手段を確認」した人が755人、「家具転倒防止等や安全対策を点検」した人が676人となっている。

自由意見では「発災時の衛生問題」「緊急処置の対応」などの記載が多く見受けられた。

前回と比べ、家庭での備えを周知してきた結果「自宅や職場等の備蓄品を点検」した人の割合が増加した。

#### ⑤ 今回の防災訓練開催はどの手段で知りましたか？（複数回答可）

	人数				割合		
	H29	H27	差	伸び率	H29	H27	差
自治会の回覧板（チラシ）	3,294	2,774	520	19%	49.4%	58.0%	-8.6%
掲示板（ポスター）	779	412	367	89%	11.7%	8.6%	3.1%
家族・友人から聞いた	611	438	173	39%	9.2%	9.2%	0.0%
役員のため参加	888	662	226	34%	13.3%	13.8%	-0.5%
広報いばらき	557	214	343	160%	8.3%	4.5%	3.9%
偶然通りがかった	173	71	102	144%	2.6%	1.5%	1.1%
市ホームページ・SNS	154	214	-60	-28%	2.3%	4.5%	-2.2%
その他	217	0	217	-	3.3%	0.0%	3.3%
計	6,673	4,785	1,888	39%	100.0%	100.0%	0.0%



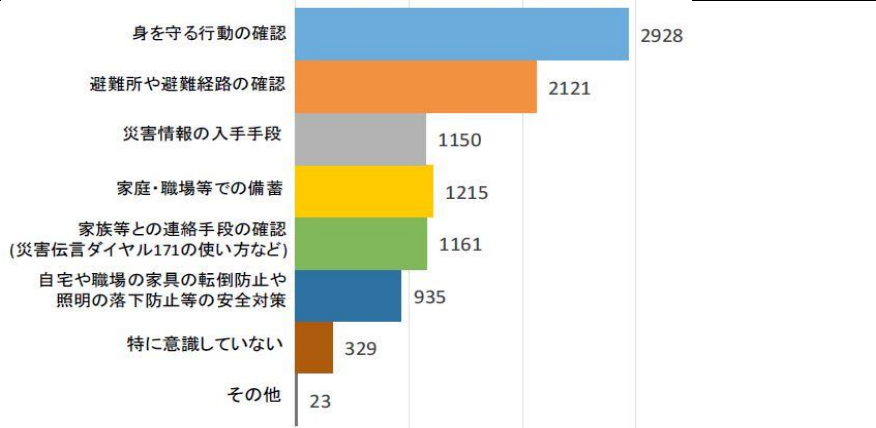
「自治会の回覧板（チラシ）」が3,294人で約半分の割合を占めた。次に「役員のため参加」が888人「掲示板（ポスター）」が779人、「家族・友人から聞いた」が611人、「広報いばらき」が557人、「偶然通りがかった」が173人、「市ホームページ・SNS」が154人となっている。

その他の記載では、「学校」「部活」などが多かったことから、教育施設を通じての広報も効果的である。

前回と比べ、「掲示板（ポスター）」と「広報いばらき」の割合が増加している。掲示板（ポスター）は掲出数を増やした結果、また、広報いばらきでは直前の12月号に特集記事を掲載した結果であると推測される。

⑥災害に備えて、普段から意識していることは何ですか？（複数回答可）

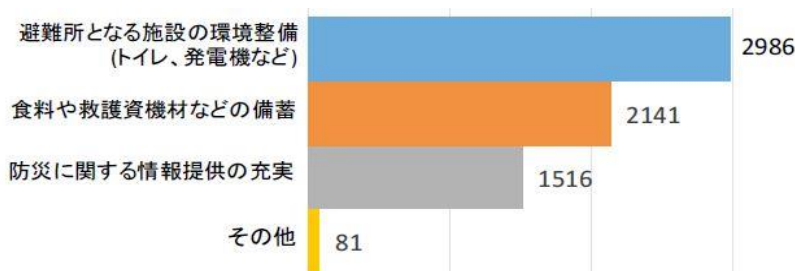
	人数				割合		
	H29	H27	差	伸び率	H29	H27	差
身を守る行動の確認	2,928	2,427	501	21%	29.7%	29.0%	0.7%
避難所や避難経路の確認	2,121	1,952	169	9%	21.5%	23.3%	-1.8%
災害情報の入手手段	1,150	1,012	138	14%	11.7%	12.1%	-0.4%
家庭や職場等での備蓄	1,215	895	320	36%	12.3%	10.7%	1.6%
家族等との連絡手段の確認	1,161	982	179	18%	11.8%	11.8%	0.0%
家具の転倒防止等の安全対策	935	874	61	7%	9.5%	10.4%	-0.9%
特に意識していない	329	226	103	46%	3.3%	2.7%	0.6%
その他	23	0	23	-	0.2%	0.0%	0.2%
計	9,862	8,368	1,494	18%	100.0%	100.0%	0.0%



「身を守る行動の確認」が2,928人で最も多く、次に「避難所や避難経路の確認」が2,121人、「家庭・職場等での備蓄」が1,215人、「家族等との連絡手段の確認」が1,161人、「災害情報の入手手段」が1,150人、「家具の転倒防止等の安全対策」が935人であり、「特に意識していない」は、若年層に多い。

⑦防災に関して市に力を入れて取り組んで欲しいことは何ですか？（新規設問）

	人数	割合
避難所となる施設的环境整備（トイレ等）	2,986	44.4%
食料や救護資機材などの備蓄	2,141	31.8%
防災に関する情報提供の充実	1,516	22.5%
その他	81	1.2%
計	6,724	100%

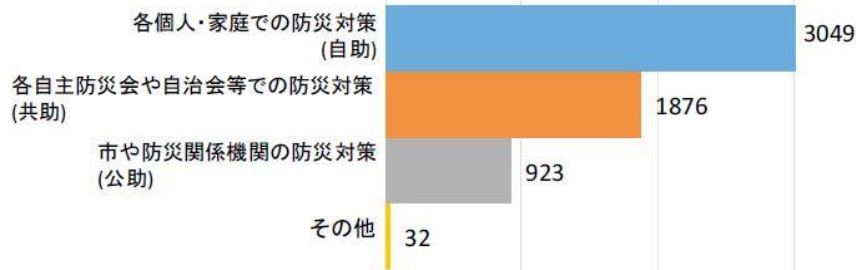


「避難所施設的环境整備」が2,986人で半分近い割合を占めた。次に「食料や救護資機材などの備蓄」が2,141人、「防災に関する情報提供の充実」が1,516人となっている。

その他の意見として、「要配慮者への防災対策」や「市民への意識啓発」などが多く挙げられた。

⑧ 今後、防災意識を高める取り組みとして、最も力を入れるべきことは何だと思えますか？（新規設問）

	人数	割合
各個人・家庭での防災対策（自助）	3,049	51.9%
各自主防や自治会等での防災対策（共助）	1,876	31.9%
市や防災機関の防災対策（公助）	923	15.7%
その他	32	0.5%
計	5,880	100%



過去の災害の教訓から、自助・共助の重要性を伝えてきた結果、「自助」に関する項目が3,049人、「共助」に関する項目が1,876人と全体の8割を超えた。

その他の記載では、「近所との助け合い」など共助に関する内容が多く挙げられた。

⑨ 訓練に関するご意見・ご感想など自由意見

1,155人の方から訓練に関する意見や感想をいただいた。

- 防災意識の高揚や自助・共助の向上に関する内容が多く寄せられた。

「良い体験になった。意識を高めることができた。」（防災意識の高揚）

「備蓄品の再確認をしたが、意外とないものが多かったし、災害保険の確認についても気づくことができた。」（自助力の向上）

「自分だけでなく、地域の人との助け合いも大切とわかった。」（共助力の向上）

- 課題として、多様な世代の訓練参加、屋外スピーカーでの情報伝達や訓練の工夫、一時避難地等活用に関する意見が多く寄せられた。

「高齢者が多い。もっと若い層に参加を求めてほしい」（多様な世代の参加）

「訓練放送の音が小さかった。聞こえにくかった。」（情報伝達の充実）

「訓練の段取りが悪かった。待ち時間を工夫してほしい。」（訓練の工夫）

「一時避難地などの公園などでの訓練も希望」（訓練の拡充）

- 今後に向けては、定期的な訓練の実施などの意見が多く挙げられた。

「定期的に繰り返しの実施をお願いします。」（訓練の継続）